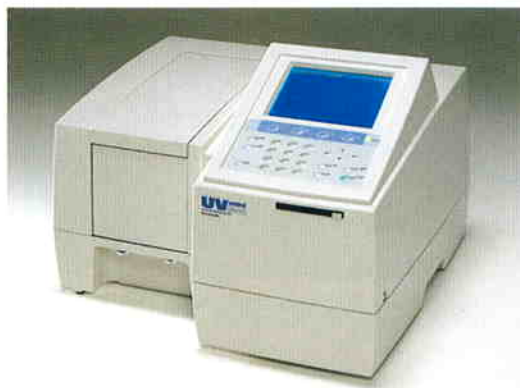


 **UV mini-1240/1240V**  
Shimadzu Spectrophotometer

島津分光光度計



かたちは**mini** 機能は**mega**



**mini** 場所をとりません (ほぼA3サイズ、重さ11kg)

**mega** 簡単な比色分析から、高度なスペクトラム測定や  
定量測定までカバーできます。

## 必要なデータは大きく、わかりやすく

見やすいバックライト付き液晶画面いっぱい、測定波長と吸光度が表示されます。

## 最適な測定波長の検討もワンタッチ

数秒から1分以内で試料の吸収波形を確認できます。吸収ピーク自動検出機能を使って最適な測定波長を即座に確認できます。



## 試料の濃度測定、

## 定量分析のために3種類のメソッドを用意しました

決められた係数を設定するだけで、簡単に濃度が求められるファクター法、一つの標準試料を元に未知試料の濃度が計算される一点検量線法。そして、濃度と吸光度が比例しない場合にも対応できる多点検量線法（一次～三次）に対応できます。

## 高度な定量：二波長、三波長分光測定も

1波長による定量だけでなく、2波長、3波長を用いた測定ができます。妨害成分の干渉下における目的成分の定量や、濁った試料の測定に役立ちます。

## 測定結果は簡単プリント、高精度プリント

画面コピープリンタで簡単に、即座に結果をプリントできます。市販のプリンタを使えば、スペクトルの微妙な変化をあますところ無く確認できます。

## データはICカードに、そしてパーソナルコンピュータに

測定データは専用のICカードに保管できます。また専用のソフトウェア（オプション）を使ってパーソナルコンピュータで管理できます。

## 豊富な付属品とICカードによる機能の拡張

40種類以上の付属品からアプリケーションに沿ったものを選択できます。装置前面にあるICカード用スロットにプログラムカードを差し込む事で機能を拡張できます。



# 基本的な機能を標準装備



## フォトメトリック

固定波長での吸光度/透過率を測定します。  
Kファクタ法（係数入力）による定量も可能です。  
プリンタへのデータの自動印字や、RS-232Cポートへの自動出力機能があります。  
オプションのマルチセル試料室やセルポジションナを使用すれば、6つの試料の連続測定が可能です。

### フォトメトリック

波長:

700.0 nm

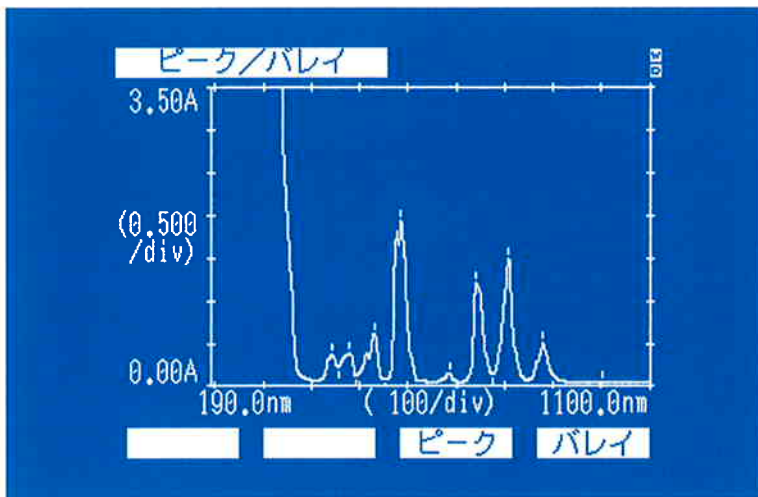
データ:

-0.000 ABS

T% / ABS 試料制御 測定画面 条件記憶

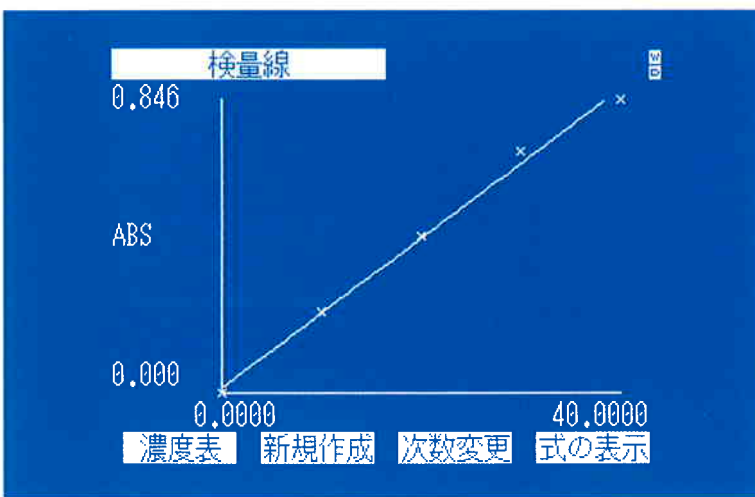
## スペクトラム

このクラス初のスペクトラム測定標準装備。  
 波長スキャンをおこない、試料のスペクトラムを記録します。  
 くり返しスキャンによって試料の変化を追跡することもできます。  
 得られたスペクトルの拡大/縮小、ピーク検出などのデータ処理がおこなえます。



## 定量

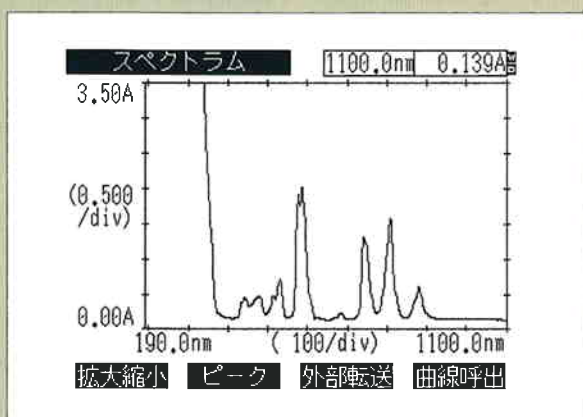
標準試料から検量線を作成して未知試料の濃度を算出します。  
 波長数は1から3波長が選べます。  
 検量線もKファクタだけではなく、1次から3次の回帰検量線が選択できます。



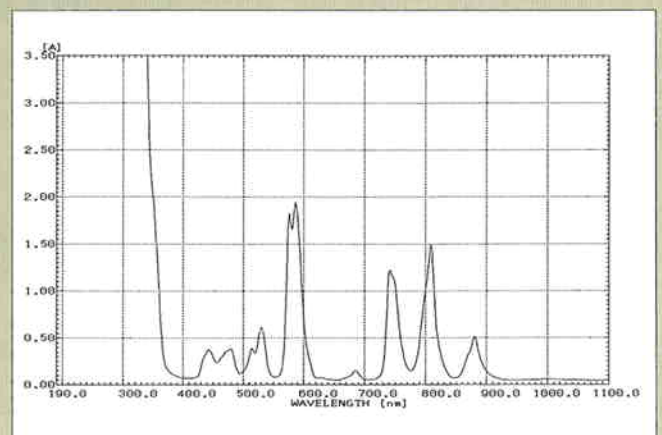
## プリント出力

スペクトラムのプリンタへの印字は画面ハードコピーとプロット出力の2通りが選べます。

画面ハードコピー



プロット出力



## DNA/蛋白質プログラムパック (部品番号206-89750-91)

DNAや蛋白質の濃度が簡単に求められます。発色操作等をおこなわずに、紫外波長域の吸収バンドから、DNA濃度と蛋白質濃度を直接定量します。波長や演算式は、あらかじめ設定されているので、サンプルをセットして、START/STOPキーを押すだけのワンタッチ操作で定量結果が得られます。さらに、測定波長や演算の係数は任意に変更することもできます。

※UVmini-1240V(可視タイプ)では使用できません。

DNA/蛋白質 260.0nm 0.000A<sub>260</sub>

1.測定波長 : λ1= 260.0nm λ2= 230.0nm  
 2.バックグラウンド補正 : なし λb= 320.0nm  
 3.係数 : K1= 49.100 K2= 3.4800  
           K3= 183.00 K4= 75.800

計算式 DNA 濃度 = K1\*A1 - K2\*A2  
           蛋白質 濃度 = K3\*A2 - K4\*A1

項目番号を入力して下さい。(測定:STAR  
 Base補正 試料制御 測定画面 条件設定画面)

条件設定画面

DNA/蛋白質 260.0nm 0.221A<sub>260</sub>

試料 No. = 3

λ :	260.0 nm	230.0 nm
A	A1	A2
	0.220	0.161
A1/A2 :	1.3682	
DNA 濃度 :	10.264	
蛋白質 濃度 :	12.777	

Base補正 試料制御 試料 No. = 4

測定画面

### ●2波長の吸光度比及びDNA/蛋白質の濃度を計算します。

定量計算式は次の2種類から選択可能※

1) A1=260nmの吸光度、A2=230nmの吸光度

$$\text{吸光度比} = A1/A2$$

$$\text{DNA濃度} = 49.1 \times A1 - 3.48 \times A2$$

$$\text{蛋白質濃度} = 183.0 \times A2 - 75.8 \times A1$$

2) A1=260nmの吸光度、A2=280nmの吸光度

$$\text{吸光度比} = A1/A2$$

$$\text{DNA濃度} = 62.9 \times A1 - 36.0 \times A2$$

$$\text{蛋白質濃度} = 1552.0 \times A2 - 757.3 \times A1$$

※320nmにおける吸光度をバックグラウンド補正用として使用可能

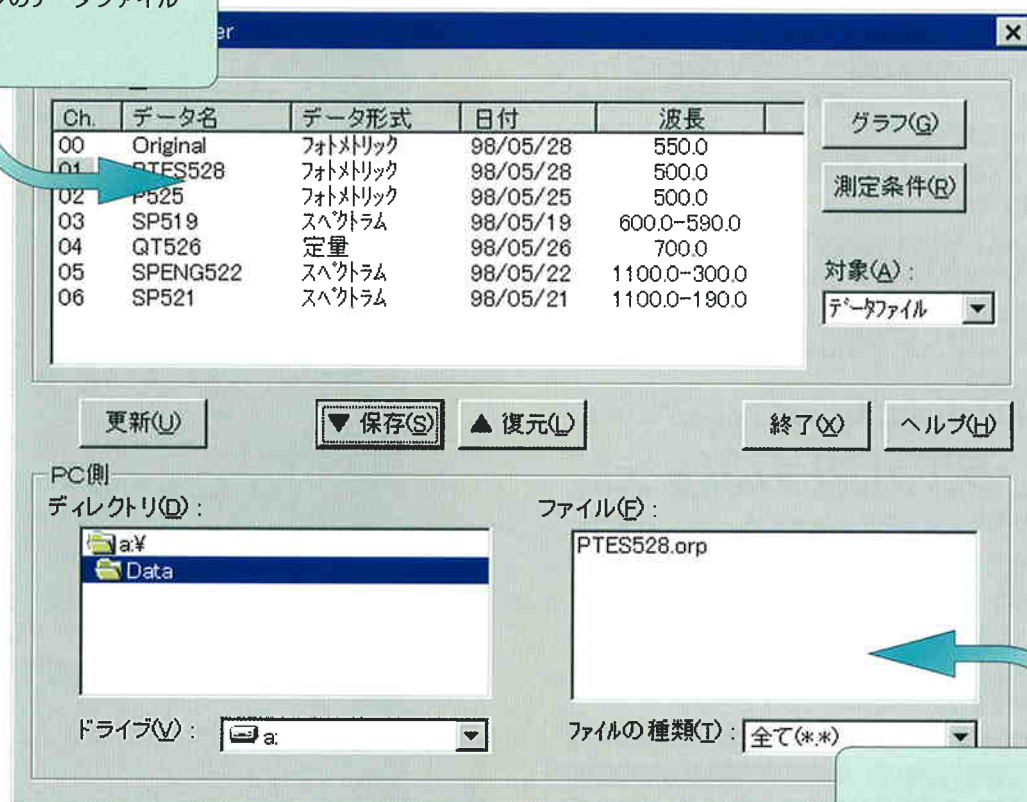
#### 参考文献

1. Warburg and Christian, (1942) Biochem. Z. 310, 384-421.
2. Kalb and Bernlohr, (1977) Anal. Biochem. 20, 86-93.

## UVデータマネージャ (部品番号206-89765-91)

本ソフトウェア (PC用ソフトウェア) は、分光光度計とパーソナルコンピュータをRS-232Cインターフェースケーブルで接続することで、分光光度計をカードリーダーに早変わりさせます。UVデータマネージャは、分光光度計のメモリ内のデータファイルとデータパックのデータファイルをパーソナルコンピュータで管理するためのソフトウェアです。

分光光度計側のメモリ内およびデータパックのデータファイルリストです。



メイン画面

PC側の指定されたディレクトリ内のデータファイルリストです。

- データファイルと測定条件ファイルを管理します。
- PCで読み出したデータファイルはテキストファイルに変換して保存できますので、市販の表計算ソフトウェアに読み出すことができます。
- PCで保存したデータを分光光度計のメモリやデータパックに書き込むことができます。
- 分光光度計側のデータリストボックス内のファイルは並び替えが可能です。データファイルを種類別にまとめたり、最新のデータを検索するのに有用です。
- スペクトルデータファイルのグラフ表示が可能ですので、データの認識が容易です。

※UVデータマネージャはMS-Windows95/98/NTの環境下で動作します。

※コンピュータはIBM-PC互換機を使用してください。

※RS-232Cインターフェースケーブルは当社専用のものをご使用ください。部品番号は200-86408です。

※プログラムパック (オプション) のデータファイルには使用できません。

# オプションソフトウェア

## 多波長測定プログラムパック

(部品番号 206-89755-91)

最大6波長までの多波長測定が可能です。測定した吸光度や透過率に対して2波長の差や比を、また3波長演算等の演算結果を同時に出すこともできます。6連セルポジション (特別付属品) との連動プログラムも内蔵しています。

- 6波長までの波長プログラムが設定できます。
- 測定データは吸光度、透過率の2つのモードから選択することができます。
- 測光値を使って計算させることができます。
  - 1) 2波長の測光値の比および差
  - 2) 3波長演算
  - 3) 4データ数式演算:  
 $(K1 \times A1 + K2 \times A2 + K3 \times A3 + K4 \times A4) \times K5$
  - 4) 4データ数式演算:  
 $K5 \times (K1 \times A1 + K2 \times A2) / (K3 \times A3 + K4 \times A4)$
 An (n=1~4)は測定波長  $\lambda_n$  (n=1~4)での吸光度。  
 透過率でも同様の設定が可能です。
- 測定結果は測定毎にプリンタへ印字します。
- 波長毎の試料切り替え:  
 1回の測定で、波長毎に試料を切り替えて測定することができます。

## カインेटクスプログラムパック

(部品番号 206-89756-91)

一定波長での吸光度の時間変化を測定し、酵素の活性値や種々の値を計算するためのソフトウェアです。

- 最小2乗法を使った直線回帰による活性値の計算、および再計算が可能です。
- 活性値計算に使用する係数は4種類まで設定できます。
- 測定時間/秒(分)の設定範囲は1~6550です。
- 2波長測定が可能です。バックグラウンド波長での吸光度を測定波長での吸光度から引きながら、吸光度の時間変化を記録することができます。
- 反応曲線のデータ処理機能
  - 拡大縮小 (ただし縮小については縦軸のみ)
  - カーソルキーによるデータの読み出し
  - 反応曲線の保存/呼び出し
- 測定結果 (表データ) の保存/呼び出しが可能です。

## タイムスキャンプログラムパック

(部品番号 206-89757-91)

タイムスキャンプログラムパックは、一定波長での測光値 (透過率、吸光度、あるいはエネルギー) の時間変化を記録することができます。変化の様子はタイムスキャンカーブとして画面に表示されます。

- 測定データは吸光度、透過率、エネルギーの3つのモードから選択することができます。
- 測定時間/秒(分)の設定範囲は1~6550です
- 反応曲線のデータ処理機能
  - 拡大縮小 (ただし縮小については縦軸のみ)
  - カーソルキーによるデータの読み出し
  - 反応曲線の保存/呼び出し

多波長測定 500.0nm 0.154A<sub>0</sub>

試料 No. = 1

A1( 500.0 ) = 0.154 A2( 480.0 ) = 0.400  
 A3( 460.0 ) = 0.274 A4( 440.0 ) = 0.376  
 A5( 420.0 ) = 0.098 A6( 400.0 ) = 0.100

(K1A1+K2A2+K3A3+K4A4)\*K5 = 0.3010  
 K1 = 1.0000 K2 = 1.0000 K3 = 1.0000  
 K4 = 1.0000 K5 = 0.2500

STARTキーで測定可能です。  
 係数入力 試料制御 試料 No. = 2

●多波長測定プログラムパックの測定画面

多波長測定 500.0nm 0.154A<sub>0</sub>

1.測定モード : ABS  
 2.測定波長数 : 6

λ1 = 計算式選択  
 λ3 = A1-A2, A1/A2  
 λ5 = dA(A1~A3)

3.計算式 (K1A1+K2A2+K3A3+K4A4)\*K5  
 K1 = 1.00 K5\*(K1A1+K2A2)/(K3A3+K4A4) \* 0  
 K4 = 1.00 計算なし

4.波長毎の試料切替: なし

項目番号を入力して下さい。(測定:[START])  
 ▲▼を使って選択して下さい。

●多波長測定プログラムパックの計算式設定画面

カインेटクス 500.0nm 0.425A<sub>0</sub>

試料No.	初期値(ABS)	ΔA/min	活性値
1	0.443	-0.0051	0.0508
2	0.915	-0.2294	2.2943
3	0.747	-0.0784	0.7840
4	0.693	-0.0405	0.4053
5	0.652	-0.0098	0.0977
6	0.560	-0.0868	0.8681

ラグタイム = 10.0秒 レートタイム = 15.0秒  
 試料No. 再計算 反応曲線 一覧表示

●カインेटクスプログラムパックの活性値表示画面

タイムスキャン 500.0nm 34.3%<sub>0</sub>

拡大縮小 Data出力 曲線記憶

●タイムスキャンプログラムパックの測定画面



## 蛋白質分析プログラムパック

(部品番号 206-89758-91)

蛋白質分析プログラムパックは、発色試薬を使って蛋白質の濃度を測定する4種類の定量法と、測定した吸光度とあらかじめ設定した吸光係数から濃度を計算し直接測定する定量法をまとめて一つのパッケージにしたものです。

- 定量法
  - Lowry 法
  - BCA法(Bicinchoninic Acidを用いる方法)
  - CBB法(Coomassie Brilliant Blue G-250を用いる方法)
  - Biuret 法
  - UV吸収法(280nm) ※この方法はUVmini-1240V(可視タイプ)では使用できません。
- 検量線の機能は標準の定量モードと同じです。(発色法によるもの)
- 繰り返し測定(1~10回)とその平均値による定量が可能です。
- 測定結果(表データ)の保存/呼び出しができます。

Lowry法 500.0nm 0.412Abs

1.測定波長 : 500.0 nm  
 2.検量線法 : 多点検量線 STD試料数 = 5  
 次数 = 2  
 原点通過 : なし

3.繰り返し回数 : 1  
 4.単位 : μg/ml  
 5.データ印字 : なし  
 6.Lowry法測定条件(定義値)設定

STARTキーで測定可能です。

検量線 試料制御 測定画面 条件記憶

●蛋白質プログラムパックの条件設定画面(Lowry法)

## 測定項目一覧表(1)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. Al アルミニウム | 7. COD 化学的酸素消費量  |
| 2. Ba バリウム   | 8. Color 色度      |
| 3. Ca カルシウム  | 9. Cr クロム        |
| 4. Cl 塩化物    | 10. Cu 銅         |
| 5. ClO 残留塩素  | 11. Det. アニオン活性剤 |
| 6. CN シアン    | 12. DO 溶存酸素      |

ファンクションキーを選択してください。

測定結果 次ページ 項目選択 条件設定

●水質測定プログラムパックの項目選択画面

## 水質測定プログラムパック

(部品番号 206-89751-91)

簡易化された試薬(共立理化学研究所製)と組み合わせることで簡単にしかも正確な水質測定を行うことができます。

- 測定項目数は34種、55項目、すべての測定条件は内蔵されています。各項目の測定波長、検量線、測定時間、測定濃度範囲など、項目を選ぶだけで自動設定されます。
- 分析の知識がなくても画面の指示どおりに操作することで結果が得られます。使用試薬の番号や操作手順が示される、マニュアルの測定ガイド付きです。
- オプションの6連マルチセルを使えば、一度に6つのセルに対して測定できます。
- 指定時間後に自動測定。画面には経過時間が表示され指定時間後に自動的に濃度値を表示、ブザーが測定終了を知らせます。

## 測定項目一覧

化学記号	測定項目	化学記号	測定項目
Al	アルミニウム	Ni	ニッケル
Ba	バリウム	NO <sub>2</sub>	亜硝酸
Ca	カルシウム		亜硝酸体窒素
Cl	塩化物	NO <sub>3</sub>	硝酸 NO <sub>2</sub> 混在なし
ClO	残留塩素 DPD法		硝酸 NO <sub>2</sub> 0.2mg/l以下
	残留塩素 オルトトリジン法		硝酸 NO <sub>2</sub> 0.2mg/l以上
CN	シアン 遊離シアン		硝酸体窒素 NO <sub>2</sub> -N 混在なし
	シアン 全シアン		硝酸体窒素 NO <sub>2</sub> -N 0.06mg/l以下
COD	化学的酸素消費量		硝酸体窒素 NO <sub>2</sub> -N 0.06mg/l以上
Color	色度	Pb	鉛 他の金属を含まない
Cr	クロム6価クロム		鉛 他の金属を含む
	クロム全クロム	pH	BCG
Cu	銅		CPR
Det	アニオン活性剤		BTB
DO	溶存酸素		CRb
F	ふっ素	Phenol	フェノール
Fe	2価鉄	PO <sub>4</sub>	リン酸
	2価鉄(低濃度)	SiO <sub>2</sub>	シリカ 高濃度
	3価鉄		シリカ 低濃度
	全鉄 酸化法	Sn	すず
	全鉄 還元法	SO <sub>3</sub>	亜硫酸
	全鉄(低濃度)	SO <sub>4</sub>	硫酸
FOR	ホルムアルデヒド	TH	全硬度
H <sub>2</sub> O <sub>2</sub>	過酸化水素	Turbid.	濁度
K	カリウム	Zn	亜鉛 他の金属を含まない
Mg	マグネシウム		亜鉛 他の金属を含む
Mn	マンガン		
NH <sub>4</sub>	アンモニウム		
	アンモニウム体窒素		

試薬に関するお問い合わせは

株式会社共立理化学研究所(製造および販売)  
 〒145-0071 東京都大田区田園調布 5-37-11  
 TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666

硝酸体窒素(5) NO<sub>3</sub>-N 539.0nm 0.375Abs

亜硝酸体窒素 混在 0.06mg/l 以下  
 試薬 No.19 R-1 R-2

測定方法  
 亜硝酸発色操作:[1]キーを押してください  
 1 発色処理した試料で[セルBLK]を行う  
 2 試料25mlを蓋付容器にとりR-1,R-2加える  
 3 激しく攪はんする(1分間-100回)  
 4 同時に[測定開始]を押す

測定範囲 0.045 ~ 0.68 mg/l

項目変更 試料制御 セル BLK 測定開始

●水質測定プログラムパックの操作画面

硝酸体窒素(5) NO<sub>3</sub>-N 539.0nm 0.244Abs

測定範囲 0.045 ~ 0.68 mg/l  
 指定時間 5分  
 経過時間 05:00  
 手動 mg/l

濃度 0.451 mg/l

項目変更 中止 記憶 次の試料

●水質測定プログラムパックの測定画面

## ハードウェア仕様

項目	UVmini-1240	UVmini-1240V
スペクトルバンド幅	5 nm	
測定波長範囲	190.0~1100.0 nm	325.0~1100.0 nm
波長表示	0.1nm単位	
波長設定	0.1nm単位 (波長走査領域設定時は1nm単位)	
波長正確さ	±1.0 nm	±1.5nm
波長繰り返し精度	±0.3 nm	
波長送り速度	波長移動: 約3800 nm/min 波長スキャン: 約 24 ~ 1400 nm/min	
光源切り替え	以下の3つから選択可能 ●波長と連動した光源の自動切り替え 切替波長は295 nm~364 nmから 1 nm単位で選択可能 推奨波長は340 nm ●切り替えなしのハロゲンランプ(WI)のみの使用 ●切り替えなしの重水素ランプ(D2)のみの使用	ハロゲンランプ(WI)のみ切り替えなし
迷光	0.05 %以下 (220.0nm NaI, 340.0nm NaNO <sub>2</sub> および UV-39)	0.05 %以下 (340.0nm NaNO <sub>2</sub> および UV-39)
測光方式	シングルビーム測光方式	
測光レンジ	吸光度: -0.3~3.0 Abs 透過率: 0.0~200 %	
記録レンジ	吸光度: -3.99~3.99 Abs 透過率: -399 ~ 399 %	
測光正確さ	±0.005 Abs (1.0 Absにて) } NIST 930D フィルタ使用 ±0.003 Abs (0.5 Absにて)	
測光繰り返し精度	±0.002 Abs (1.0 Absにて)	
ベースライン安定性	±0.001 Abs/h 以内 (電源投入2時間後)	
ベースライン平坦度	±0.010 Abs 以内 (電源投入1時間後, 1100~200nmにおいて)	±0.010 Abs 以内 (電源投入1時間後, 全域において)
ノイズレベル	P-P 0.002 Abs以内, 0.0005 Abs RMS 以内	
ベースライン補正	コンピュータメモリによる自動補正	
光源	20Wハロゲンランプ(長寿命2000H形), 重水素ランプ (ソケット形), 最大感度自動調整機能内蔵	
分光器	収差補正形凹面ホログラフィックグレーティング使用	
検出器	シリコンフォトダイオード	
試料室	室内寸法 幅110.0×奥行230.0×深さ105.0 mm (一部深さ155.0 mm) 着脱方式:2点ネジ止め	
表示装置	6インチLCD(320×240ドット)冷陰極管照明付き コントラスト調整機能付き	
所用電源	100~120V, 50/60 Hz 160VA	
大きさ	W 416×D 379×H 274 mm	
重さ	11 kg	
使用温度、湿度	室温15~35°C, 湿度45~80% ただし30°C以上の場合は湿度70%以下	

※電源は必ず3線式(接地線を含む)のコンセントをご用意ください。

## ソフトウェア仕様

### フォトメトリック

- ① 固定波長測定 測光モード：T%, ABS
- ② Kファクタ法（係数入力）による定量
- ③ 表データの保存/呼び出し機能
- ④ データの自動印字機能，RS-232Cポートへの自動出力機能
- ⑤ 特別付属品CPS-240，マルチセル使用時：最大6個のセルの連動測定が可能

### スペクトラム

- ① スペクトル測定  
測光モード：ABS, T%, E  
スキャン速度：超高速，高速，中速，低速，超低速  
スキャン繰り返し回数：1～99  
記録方式：重ね書き/更新書き選択可能
- ② スペクトルのデータ処理機能  
ピーク/バレイの検出（ともに20個まで可能）  
拡大縮小（ただし縮小については縦軸のみ）  
カーソルキーによるデータの読み出し  
データの保存/呼び出し機能（本体：6，データパック：21）
- ③ スペクトルデータのRS-232Cポートでの外部転送機能
- ④ ESC/Pプリンタ使用時：スペクトルの波形印字（A5サイズの出カ）

### 定 量

- ① 1波長定量測定，2波長/3波長定量測定
- ② 検量線に関する機能  
Kファクタ法による濃度の自動計算  
一点検量線法による濃度の自動計算  
多点検量線  
標準試料数（2～10）  
検量線：1～3次の回帰検量線  
原点通過条件の選択  
標準試料の繰り返し測定（1～10回）とその平均測定値による検量線作成  
検量線式の表示  
検量線の相関係数の表示
- ③ 測定  
繰り返し測定（1～10回）とその平均測定値による定量
- ④ 表データの保存/呼び出し機能
- ⑤ データの自動印字機能，RS-232Cポートへの自動出力機能
- ⑥ 特別付属品CPS-240，マルチセル使用時：最大6個のセルの連動測定が可能

薬局方一般試験法に準拠した

# UV-1600/1650PC



### [主な特長]

A2サイズでコンパクト、軽量です。

1クラス上の光学性能と機能を搭載しており、スタンドアロンタイプ (UV-1600)と、最新のパソコン環境で操作するPC制御タイプ (UV-1650PC)の2機種があります。

### [主な仕様] (UV-1600/1650PC共通)

測定波長範囲：190~1100nm

波長正確さ：±0.3nm (656.1nm, 486.0nmにて)

測光正確さ：±0.004Abs (1.0Absにて)NIST 930Dフィルタ使用  
±0.002Abs (0.5Absにて)

スペクトルバンド幅：2nm

迷光：0.05%以下(220.0nm, 340.0nm)

測光方式：ダブルビーム測光方式

測光レンジ：吸光度：-0.5~3.999Abs

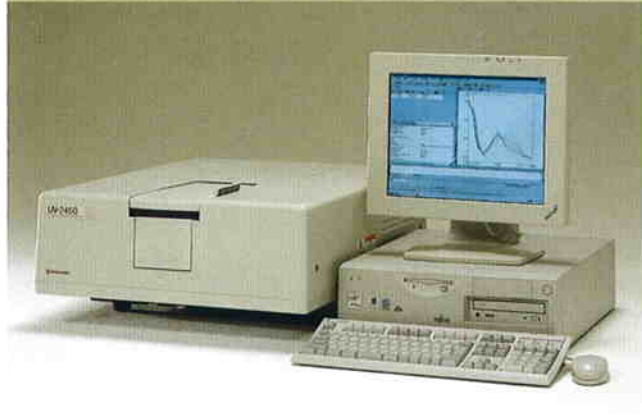
分光器：収差補正型凹面ブレードホログラフィック  
グレーティング使用



環境ISO認証取得

透過吸収測定から反射測定までさまざまな用途に対応

# UV-2450/2550



### [主な特長]

#### ■ 低迷光

UV-2550は、DDM (ダブルブレードグレーティングダブルモノクロメータ) 技術に裏打ちされた、明るい光学系で超低迷光と高エネルギー特性を両立しています。UV-2550のシングルモノクロバージョンであるUV-2450はシンプルな光学系にもかかわらず、0.015%と低迷光を実現しました。

#### ■ 高性能

両機種ともコストパフォーマンスの高い分光光度計として、有機、無機化合物分析や、DNAや酵素などの生化学試料、光学材料の特性測定など様々な紫外可視分光分析にご利用頂けます。

#### ■ Windows NT 対応

Windows NT環境で動作する、新世代UVソフトUVProbeを標準ソフトとして採用しました。UVProbeはマルチタスク、レポート機能など、ネットワーク新時代に適合した新機能を搭載し、みなさまの測定をア

### [主な仕様]

測定波長範囲：190.0~900.0 nm

設定可能波長範囲：190.0~1100.0 nm (注)

分解：0.1 nm

迷光：UV-2450：0.015%以下 (220.0nm,340.0nm)  
UV-2550：0.0003%以下(220.0nm,340.0nm)

測光方式：ダブルビーム測光方式

測光レンジ：吸光度：-4~5Abs

分光器：UV-2450：収差補正型ツェルニターナマウント  
シングルモノクロメータ

UV-2550：ダブルブレードグレーティング、収差補正型  
ツェルニターナマウントダブルモノクロメータ

注)光電子増倍管を、長波長感度のあるタイプに変更することで1100nmまで測定範囲を広げることが出来ます。

トラブル解消のため補修用部品・消耗品は当社の純正部品をご採用ください。  
※外觀および仕様は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## 島津製作所

分析機器事業部 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 (075) 823-1195

東京支社 101-8448 東京都千代田区神田錦町1丁目3  
(03)3219-(官公庁担当)5631・(大学担当)5616・(会社担当)5685

関西支社 530-0012 大阪市北区芝田1丁目1-4 阪急ターミナルビル14階  
(06)6373-(官公庁・大学担当)6541・(会社担当)6551

札幌支店 060-0005 札幌市中央区北五条西6丁目2-2 札幌センタービル8階 (011)205-5500

東北支店 980-0021 仙台市青葉区中央2丁目10-30 仙台明芳ビル3階 (022)221-6231

郡山営業所 963-8004 郡山市中町6-16 ロードン中町ビル3階 (024)939-3790

つくば支店 305-0031 つくば市吾妻3丁目17-1 (0298)51-8515

北関東支店 330-0843 大宮市吉敷町1丁目41 明治生命大宮吉敷町ビル8階  
(048)646-(官公庁・大学担当)0095・(会社担当)0081

横浜支店 220-0004 横浜市西区北幸2丁目8-29 東武横浜第3ビル7階  
(045)312-(官公庁・大学担当)4421・(会社担当)311-4615

静岡営業所 420-0857 静岡市御幸町5-9 静岡FSビル5階 (054)272-5600

名古屋支店 450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目28-12 大名古屋ビル5階  
(052)565-(官公庁・大学担当)7521・(会社担当)7531

京都支店 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1  
(075)811-(官公庁・大学担当)8191・(会社担当)8151

神戸支店 650-0034 神戸市中央区京町70 松岡ビル8階  
(078)331-(官公庁・大学担当)9662・(会社担当)9665

岡山営業所 700-0826 岡山市磨屋町3-10 住友生命岡山ニューシティビル6階 (086)221-2511

四国営業所 760-0071 高松市藤塚町3丁目3-15 (087)834-3031

広島支店 730-0036 広島市中区袋町4-25 明治生命ビル15階  
(082)248-(官公庁・大学担当)4315・(会社担当)4312

九州支店 812-0039 福岡市博多区冷泉町4-20 島津博多ビル4階  
(092)283-(官公庁・大学担当)3332・(会社担当)3334

島津分析コールセンター (お客様に対する電話相談窓口)  
東京 (03)3219-1691 (東日本地区) 京都 (075)813-1691 (西日本地区)

カスタマーサポートセンター  
京都 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 (075)823-1187

東京 259-1304 秦野市堀山下380-1 (秦野テクノパーク内) (0463)88-8660

東北 980-0021 仙台市青葉区中央2丁目10-30 仙台明芳ビル3階 (022)221-6231

つくば環境分析センター 305-0031 つくば市吾妻3丁目17-1 (0298)51-8571

LCカスタマーサポートグループ  
京都 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 (075)823-1083

秦野 259-1304 秦野市堀山下380-1 (秦野テクノパーク内) (0463)88-8693

島津ホームページアドレス <http://www.shimadzu.co.jp>  
3211-08C04-30A-ADT